

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20 年 2 月 15 日
事業所名	グループホーム 第2グレイスフル春日井
ユニット名	
事業所番号	2372501169
記入者名	職名：ハウスマネージャー 氏名：松倉 亜希
連絡先電話番号	(0568)32-6757

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		運営推進会議を定期的開催し、ご家族様・地域の方へお話をしていく様にしています。
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		取り組みの事実の内容を継続的に行い、隣近所、地域の方によりご理解をして頂ける様に努めたいです。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		「交流」から発展し「地域住人」となれるようにしたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ホーム職員が介護予防教室で講師となり、「認知症について」お話しさせて頂いています。		ホームの特徴を活かし、地域の高齢者の方に向けた支援ができる様に検討したいです。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員の経験年数により異なりますが、徐々に理解していると思います。前回の結果を基に一つずつ改善に取り組んでいます。		外部評価の意義を理解し、今後もケアの向上に向けて取り組んでいきたいです。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で様々な視点（ご家族様・区長・市町村職員・地域包括職員など）からのご意見を頂き、一つずつケアの向上に活かしています。		今後も積極的にご意見を求め、ケアの向上に活かしていきたいです。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と随時、報告・相談を行い、運営・サービスの向上に協力を求めています。		今後も報告・相談を行い、情報交換に努めたいです。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、成年後見制度を利用される方がみえないので、学ぶ機会、話しあひまで至っていないのが現状です。		今後、必要な方に支援できる様、学ぶ機会を持ちたいと思っています。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止・身体拘束廃止について理念にも組み込まれており、随時話をしています。職員間のコミュニケーションを図り、防止に努めています。		今後も、虐待防止・身体拘束廃止について理解を深め、マニュアルの作成・防止に努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>注意をしていますが、集めきれいでないので、今後も言語以外の情報も汲み取っていきたいと思います。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		<p>ホーム内行事だけでなく、外食・外出にもご家族にご参加頂き、日々の様子を知って頂ければと思います。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>ご家族がご意見等を話しやすい環境作りを継続して行い、信頼関係を築いて行きたいと思います。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		<p>職員間のコミュニケーション、話し合いを大切に、職員全員でホームを作って行きたいと思います。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		<p>職員配置、業務内容を見直し、日中の人員配置を厚くしたいと思います。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ご利用者様への影響を考え、必要最小限に抑えています。職員の質、知識の向上・適材適所の配置の為に異動があり、ご理解を求めています。異動があった際は、利用者様の混乱が起きないように、行動・身体面等に注意を払っています。		今後も職員異動は考えられます。利用者様・職員双方が顔なじみ、信頼関係が築ける様、他の職員でサポートをしていきます。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修、職員の希望研修へは、積極的に参加をできるようにしています。資格取得（介護福祉士・介護支援専門員等）に向けて、各自スキルアップ出来る様にサポートしています。		今後も職員の要望を聞き、研修への参加、質・レベルアップに向けて取組んで行きたいです。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のグループホーム（六カ所）と協力し、合同の勉強会・交換研修・交流を持てる様に努めています。		今後も継続して行い、ケアの質の向上・情報交換を行って行きたいです。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	業務の見直しを随時行い職員負担を減らしたり、希望時の休暇・有給の取得、働きやすい環境作りに努めています。		平成20年度の法人事業目標としてあげており、法人全体で取組んでいきます。メンタルケアに関する知識を増やしていきたいと思います。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	希望時の休暇・有給の取得や、勤続年数に応じ誕生日休暇の取得、希望部署への配置、研修の参加を行っています。QC大会で日ごろのケアについて発表の機会を設けています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>申し込み担当者・担当ケアマネージャーより情報を収集し、困っている事・ご要望の把握に努めています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族様・申し込み担当者・担当ケアマネージャーよりお話を伺う機会を設け、現在のご本人様の様子、ご家族様の困っている事・ご要望の把握に努めています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご相談を受けた際に、ご本人様の身体・精神状態を伺い、他職種と相談を行います。他サービス（ディ・ショートステイなど）をご利用されている際は、他サービスからも情報を収集し、ご利用の見極めを行っています。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご入居前にご本人様・ご家族様に来所して頂き、直接雰囲気を確認して頂いたり、困っている事・ご要望を伺います。軽減できる様お話をし、安心してご入居頂ける様に努めています。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々、喜怒哀楽を共にし、必要な時はマンツーマン対応をし支え合う関係を築いています。料理や掃除の方法・野菜や花の名前等を教えて頂く等し、「人生の先輩」として敬意を示し接しています。</p>	<p>ケアスタッフからケアパートナーと視点をかえ、生活を共にする事で多くの事を学んでいきたいと思えます。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事へご参加して頂ける様お声をかけたり、美容院や病院受診など、ご家族様にもケアに関わって頂ける様、ご理解を頂いています。ご面会時にご家族様ともお話しする時間を頂き、信頼関係を築ける様に心掛けています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご入居前の生活歴や家族関係を理解し、ご入居される事でよりよい関係が築けるようサポートしています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご面会時間は設けず、いつでも来て一緒に過ごして頂ける環境作りに努めています。馴染みの場所への訪問については、全ての方に充分行えていないのが現状です。		個別での外出を多い、その方にとっての馴染みの場所へ行くことが出来る様に努めて行きたいと思っています。今後も、ご家族様にもご協力を頂きたいと思います。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お一人お一人の性格・個性を大切にし、ご利用者様同士の信頼関係を築いて頂いています。時にはレクリエーションや職員が間に入り、お互いを理解して頂ける様に努めています。2～3人用のソファを設置し、お話しして頂ける様にしています。		今後ご利用者様同士がお互いを理解し、共同生活を送って頂ける様、支援していきたく思います。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も必要な情報提供・サポートを行い、現状把握に努めています。併施設内は移動された際は、ご利用者様と一緒に面会に伺う様にしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の会話・様子や、つぶやきを集める事より、ご意向の把握に努めています。ご希望は出来る限り叶えられる様にしています。</p>	<p>今後も様々な方法で、お一人ずつのご意向の把握に努めていきます。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご入居前に、ご本人様・ご家族様より書面やお話を伺い把握に心掛けています。入居後も情報収集に取り組んでいます。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>ご入居年数・心身状態に合わせ、現状把握に努め情報交換・記録作成を行っています。ご入居直後は特に一日の過ごし方・生活リズムの把握に、職員全員で行い情報交換に努めています。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>通常より、ご本人様・ご家族様よりご要望等を伺ったり、職員同士で話し合い、ケアを検討しています。</p>	<p>現在はケアマネージャーが中心となって行っている為、他の職員も積極的に関わられる様に理解を深めて行きたいと思っております。また、今後はご家族様も交えたカンファレンス等を開催したいと思っております。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアマネージャーを中心に見直しを適切に行っています。見直し期間前に変化が生じた際も、ケアの見直しを必要に応じ行っています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を必ず個人記録に残す様にしており、情報の共有・介護計画の見直しに役立てています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人様・ご家族様のご要望に添える様、他部署・他職種と連携しサポート出来る様に努めています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方々にご協力を頂き、ケアのお手伝いをして頂いています。併設施設内の行事、職員等と連携を図り、ケアの幅を広げています。		離設事故に備え、警察・消防各機関との連携を密にして行きたいと思います。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のケアマネジャー等との連携は現在行えていませんが、併設施設内の慰問、クラブ等へ参加させて頂いています。		今後必要に応じ、支援をして行きたいと思います。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	併設施設内に設置されている為、随時情報提供を受けています。介護予防教室へ参加させて頂いています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地元の内科医と協力体制を図り、月一度の往診、必要時ご家族に医院・総合病院への受診を行って頂いています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	地元の精神科医と協力体制を図り、月一度の往診、必要時ご家族に医院・総合病院への受診を行って頂いています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	特養併設であるので、必要時、特養看護職へ連絡、指示を頂いています。平成19年11月より医療連携体制を開始し、より充実した医療面での支援に努めています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時の受け入れ病院への迅速な情報提供、関係機関への連絡、連携を図るように心がけています。また、病状が重度化しない様、日常より健康状態の把握に努めています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人様・ご家族様のご希望にできる限り添える様に努めています。終末期に向けては、設備・知識・技術の整った機関と連携し、安心して過ごして頂ける様にご家族様へお話をしています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在までホームで終末期を迎えた方がおりませんが、緊急時の対応が行える様には整備しています。		今後も、多方面と連携を図り、その方に必要な支援を行っていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ご本人様・ご家族様のご意向を尊重し、ご本人様のペースで慣れて頂ける様、見守り・声かけを行っています。併設施設内を散歩し、顔なじみを作る様にしています。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>自尊心を傷付けない様、言葉かけには十分注意を払い、対応しています。個人情報に関してもプライバシーマークを取得し、ルールに沿い取り扱いをしています(記録類は使用時以外は鍵のかかる机、棚へ片付けるなど)。</p>		<p>今後もより一層注意を払い、運営を行っていきます。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>一対一で過ごす時間を作り話をしたり、日常の「つぶやき」を集め、ご希望を知る様に心がけています。常に自己決定をして頂ける様に支援しています。</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ある程度の時間(掃除・食事)は決めています。が、その他の時間・レクへの参加はご本人様に決めて頂いています。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>その方らしさ、季節感が出せるよう、自分で決めて頂いたり、声かけ・支援をしています。理容・美容院へはご家族様と地元の店舗へ外出して頂いています。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お一人お一人の力を見極め、食事の準備、片付けを行って頂いています。お好きでない食材（牛乳・乳製品等）も栄養面を考え食べて頂ける様に、形を変えて提供しています。		現在、味付けは職員で行っている為、今後にご利用者様も行って頂ける様に支援をしていきたいと思っています。
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居時にお一人ずつ嗜好調査を行ったり、買い物へ出かけた際や日常会話より把握する様に努めています。ご利用者様からのご希望を献立に取り入れる様にしています。		
56 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	認知症の進行に合わせ、必要な方には排泄パターンを把握し、自尊心を傷付けない様注意を払い支援を行っています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間を毎日14時～18時までにし、ご本人様の入浴したい時にゆっくりと入浴して頂いています。		入浴はご利用者様の楽しみの一つでもあるので、ゆっくり入って頂ける環境作りをしていきたいと思っています。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	全室個室で、ご本人様の休みたい時に、休んで頂ける様にしています。入眠前に温かい飲み物を提供し、快眠して頂ける様に工夫をしています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お一人お一人の力に合わせ、役割を持って頂ける様に支援しています。お一人お一人が張り合いや喜びある生活ができる様にケアプランに反映させています。		全員の方が役割を持って過ごして頂ける様、力・生活歴の見直しを行っていききたいと思っています。また、個別外出が多く出来る様に計画をしています。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な方にはご自分でお小遣いの管理をして頂いています。買い物時、ご自分の物を購入する際は、ご本人様に支払って頂く様に支援をしています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材購入に出かける際、ご利用者様にも声をかけ出かけて頂いています。天候が許せば、戸外へ散歩に出かける様にしています。		今後ご利用者様のご希望に添って充分に外出が出来る様に努めていきます。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	少しずつですが、個別で外出が出来る様に支援を行っています。		今後、ご本人様のご希望を取り入れ、個別での外出を計画、ご家族にもご協力を得ていきたいと思います。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご希望時に電話・手紙の支援を行っています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は設定しておらず、いつでもご面会に来て頂ける様にしています。ご面会時は居室へお茶を運びゆっくりと過ごして頂ける様にしています。		今後、来て頂きやすい施設、ゆっくりと過して頂ける環境作りを行っていききたいと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員に基本的な考え方は浸透しており、身体拘束は行っていません。		勉強会・研修に参加し、正しい理解、知識を身に付けたいと思います。マニュアルの整備にも努めていきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	「鍵をかける弊害」を十分理解しており、入り口に鍵をかけず、自由に出入りが出来る様にしています。人の出入りが確認できるようにセンサーを設置し、離設事故防止に努めています。		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	食事、くつろぎ時等全ての時間帯で見守りを行い、ご利用様のその時の様子、サインを把握する様に努めています。離設の可能性のある方に関し、所在確認をこまめに行い、離設事故の防止に努めています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	生活に必要な物（石鹸・洗剤・包丁など）は夜間のみご利用様の手の届かない所へしまい、事故防止に努めています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故発生時には報告書を作成し、原因・対策を検討し、他の職員への周知、対策の実施を行っています。事故に至るのを防止する為、ヒヤリハットの報告も心がけています。		重大事故の防止の為、ヒヤリハットの報告に力を入れて行きたいと思います。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会開催時に参加をしたり、緊急時の対応方法や心肺蘇生法を目に付く所へ掲示し、落ち着いて適切な対応ができる様に努めています。		勉強会へ全員の職員が定期的に参加できる様、計画を立てています。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練はご利用様にも参加して頂き、避難方法・消火器の使い方を身に付けています。地域の避難訓練へ参加したり、施設全体で行う際は、地域の方へのお声をかけています。		非常時に落ち着いて対応できる様に、繰り返し行える様に努めていきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		平成19年11月より医療連携体制を開始し、看護職による定期的なバイタルチェック・相談を行い、より一層の医療サポートの充実に努めています。
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		今後も便秘解消の効果のある物を取り入れていこうと考えています。
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		全てのご利用者が毎食後行っていないので、行える様にしていきたいと思っています。
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを整備し、感染及び蔓延に注意を払っています。風邪等の流行期には特に注意をし、情報の伝達、うがい・手洗い等対応を行っています。インフルエンザの予防接種を全利用者様、職員が接種を行う様にしています。		勉強会の開催を計画し、知識を身に付ける様にしています。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所のごまめな清掃、曜日毎に決められた食器・まな板の消毒を毎日行い、衛生管理に努めています。買い物へ二日おきに出かけ、新鮮な食材の提供に心がけています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	鍵の施錠は行わず、入っていただきやすい環境作りに努めています。入り口にはチャイムがあり、鳴らして頂ける様になっています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	気持ちよく過ごして頂ける様、毎日ご利用者様と清掃を行い、季節・時間に応じた光や音量、室温調整を行っています。季節の花やご利用者様の作品・お好きな写真を掲示し、工夫に努めています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	多人用・一人用のソファを設置し、お好きな場所で過して頂ける様にしています。お一人になりたい際は、居室でも過して頂ける様に支援しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活必需品(寝具・筆筒・装飾品)はご自宅より持参頂き、ご自分の居室作りを行っています。		ご本人様の趣味等の合わせて、落ち着ける居室作りに努めています。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清掃時、必要時に換気を行い、空気の交換、居心地の良い室温調節を行っています。各居室は起床時や清掃時、不在時に換気の声かけ、支援を行っています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ内に手すりを設置し、ご本人様の身体能力に合わせ使用をされています。トイレは広く設計しており、身体が自在に動ける様になっています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや各居室入り口に表札や写真を飾りたい、ホームの住所を掲示し混乱を防ぐように心がけています。お一人ずつの力に応じ、食事作り、雑巾、カレンダー作りを行って頂いています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	併設施設内を散歩をしたり、ベランダにプランターや洗濯物干し、ベンチを設置し、自由に出られる様になっています。散歩を習慣にされている方もみえます。施設駐車場の草取りを行っています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ご本人様のペースでゆったりと生活を送って頂ける様に、見守り・言葉かけを心がけています。
- ・ご家族様へのご報告をこまめに行い、信頼関係を築ける様にしています。